

栗生第二住宅  
自治会ニュース  
第232号  
平成17年4月20日  
発行 自治会  
編集 広報部

# どんど 祭り



早朝より小雨模様で開催が危ぶまれる中、自治会役員が続々と集合し、豚汁の調理が始まった。開催か、中止か、でも料理は仕上がってゆく。

小雨の中、どんど祭りが始まった。雨のため参加者は少なかったが、毎年楽しみにしている方や、しめ縄等を集会所へもってきた方もあった。

おむすびと豚汁そして炭火で焼いたお餅での役員の朝食、おいしい。『どんど祭り』が全員



で取り組む最後のイベント。

昨年四月より役員に選出され、訳のわからない状態で遂行してきた各部の役員も、すっかり全員がベテランになっていた。そして、お疲れ会と新年会を兼ねた食事が始まった。一年



間やつてきた喜びと早く開放された気持ちが入り乱れる中、会話が弾んだ。

文化部の全ての行事が終わった。応援、協力してくれた各部の役員、たんぼぼの会の皆様、関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

最後に役員の方の家族の方一年間ご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。家族の協力に感謝します。

本当にありがとうございます。

(文化部一同)

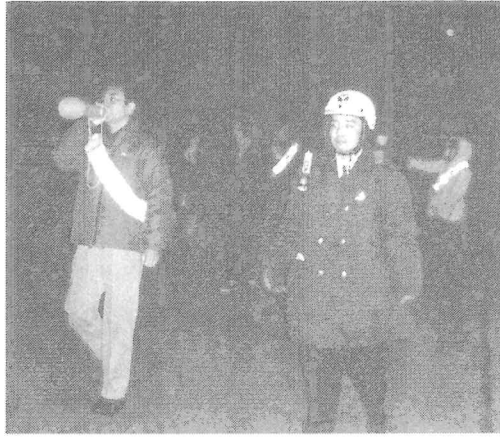
# 歳末夜回り



十二月二十九日と三十日の二日間、「火の用心!!」のかけ声を先頭に自治会主催の歳末夜回りが行われました。昨年十一月末に全国で二件の小学生が犠牲になる悲惨な事件が発生した為、子供会への参加依頼を、控えざるをえなかつた事がとても残念でした。

防犯提灯の傷み具合は「第二住宅の町づくりの精神と良き伝統」を物語っている様にうかがわれ感動しました。実は提灯の後ろ側には手が入る程の大きな穴が開いていて、設置時に手伝っていた大先輩の方のお話では、「いつから使っているのか憶えていないなく、たぶん二十年以上は…」とのことでした。今回は久しぶりに消防署東分署長さんにもご参加頂き、「火災報知器の設置の義務化について」(平成十八年六月から市町村条例

に従って時期が決まります)の講話がありました。建物火災の死者数のうち九割は住宅火災で亡くなられていて、そのうち約六割が六十五歳以上の高齢者というデータがあり、これが法制度化の背景になっています。



また箕面警察署粟生交番担当の方の講話の中から、車上荒らしの件についてのお話では、年末に捕まった窃盗犯の自供によると、被害届が出されていたのは五件のうち一件だけだったそうです。次に、対策についてのアドバイスでは、

①昼間に物色している事が多いので不審者を見かけたときは注意して下さい。

②依然としてカーナビ窃盗が多発しており、例えば取り扱い説明書を車内に置いたままにする、という様な事は絶対に避けて下さい。(特に製造番号記入のもの)

③車内に高価なものを置かない。というお話があり、「車内が容易に物色されないように、目隠しとして布あるいは大きなタオルの様なものでフロントガラスの内側を覆うなどしてから車を離れて下さい。」とのことでした。



今年も多くの方々のご協力を頂き無事に歳末防犯防災活動を実施することが出来ました。連絡の不手際など反省点はありますが、第二住宅の町づくり——三十年に及ぶ良き伝統を継承していけたらと思っています。

(防犯防災交通部)

## ふれあいサロン



何かと気忙しい十二月某日の

ポカポカ陽気の中、集会所で「第二住宅ふれあいサロン」が開かれました。「ふれあいサロン」は民生委員さん、一声訪問員さんが七十才以上の高齢者の方を対象に年二回開催されています。今年二回目の今回は皆で楽しくおしゃべりしましょうということで始まりました。

保健師さんに血圧測定をして



もらった後、歯科衛生士さんによる口の中の健康についてのお話、保健師さんによる簡単な体操教室が行われました。参加された方の中にはメモを取られている方もみえて、とても印象に残っています。その後のお食事会も楽しくなごやかな時間でした。第二住宅には七十才以上の方が二百四十名在籍されていますが「ふれあいサロン」に参加される方は毎回一割程度で、不参加の方のうち三割の方からは欠席のお返事を預けていないと聞いています。

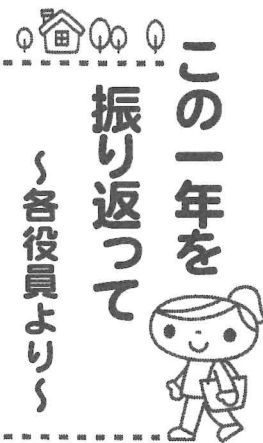
「お元気で過ごされていれば安心ですが、孤立されていないか心配です。」と民生委員さんが話されていた事が、とても心に残っています。



近所づきあいの少ない現在の社会の中で、こうした地域でのふれあいのチャンスを少しでも多くの方に知ってもらい、利用・参加して頂ければ第二住宅がもつと住みよい地域になるような気がします。「ふれあいサロン」に参加して同世代の方々との交

流を深めてみませんか？民生委員さん、一声訪問員さんの方々は毎回どんなふう楽しんでらおうかと一生懸命です。暖かい笑顔が待ってますので一度のぞいてみてください。

(福祉共済部一同)



自治会長 石井節子

何も解からないままくじを引き、自治会の会長という大役をお受けして早や一年が経ちました。

今頃になって、やっと「会長」

としての役割、重大さに気付かされております。そして今までの至らぬことばかりであった自分を反省しております。色々な出来事に出会って、暖かく協力をいつも助けて、色々な方々のお陰があったからこそ、

今日まで何とかやらせていただけたと、感謝の気持ちで一杯でございます。共に活動してきたこの一年…「大変だったねエ!!」「良かったねエ!!」という想いと、何だかとも「嬉しいねエ!!」という想いが沸いてまいりました。本当に本当にありがとうございます。

副会長 尾上由美子

仕事から帰宅して夕飯を作るすぐ集会所へ…という日が多くなった。

小学生の子供たちが夕飯をすますと風呂を沸かし、入浴をすますと洗濯までしてくれている。これも役員になったおかげ？と喜ぶべきか…。

ある日、夕飯の支度をしていると

「今日も自治会？」

と下の子が聞いてきた。

「ちがうよ。」

「わーい。」喜ぶ子を見て恐る恐る聞いてみた。

「自治会いや？」

「ううん。だって、みんなのためやろ？」

と下の子が応える。すかさず真ん中の子が

「みんなのためは僕らのためや。」と、つぶやいた。長男は黙ってうなずいていた。

子供のほうが自治会や地域活動の本質を理解しているのかもしれない…。

お祭りもお店が少なく寂しいようだが、子供たちには『おらが村の祭り』なのだ。皆、「ウチのかあさん、ヨーヨーにおるで」「オレのじいちゃん、やぐら組み立ててんで」と誇らしげだった。

個人主義の時代、高齢化。生活時間もまばらで活動も役員選出も、むずかしい棟がふえていくが、こんな時代だからこそ一年に一度でも棟の人が顔を合わせる機会や団地のみんなで楽しめる行事を継続してほしいと思う。だが、これからの時代に適した形に変わっていかなければ自治会自体が存続できない。

自治会は今その過渡期にある  
…その事を実感した一年だった。

### 事務局長 岸本 明

会長、副会長、各役員の皆様  
のご協力、本当に有り難うござ  
いました。

この一年間の各行事や活動、  
そして大きなイベントである夏  
祭り、雨となった地域運動会を  
無事に終える事が出来たのも、  
皆様のお力のお陰だと深く感謝  
いたします。

今年度は自治会員数の減少に  
歯止めをかけるべく、自治会役  
員及び、前の検討委員会の方  
にも参加して頂き、改めて検討委  
員会を開きました。

自治会員の皆様、今後ともご  
協力の程よろしくお願い致します。  
そして平成十八年度役員の皆  
様のご活躍をお祈りいたします。

### 会計部 堤 朋子

自治会の会計部長を命ぜられ  
てから、緊張の日々を過ごして  
きました。

十二月から市補助金の申請、  
各棟の棟集金費の出金等、お金  
の出入りの多い日々を過ごして  
参りました。

二月現在八六八戸の方々が自  
治会に入会されており、集めら  
れた大切な自治会費は、この一  
年間主な事では、夏祭り、年末  
の夜回りパトロール、放置自転  
車クリーン作戦、自治会ニュー  
ス「あお」の発行、老人会や子  
ども会活動への助成、敬老の日  
には七十歳以上の方々へのお祝  
い等々、いろんな行事に使われ  
てきました。

私も入居して以来三十一年、  
二回目の自治会の役となりまし  
たが、高齢者と呼ばれる域に入  
り、自治会活動の事や会計部長  
としての重責を思うと、やって  
いけないのかなあと健康面で大変  
不安もありました。しかし行事  
ごとに参加して下さる自治会  
員の皆様の笑顔と、何時も支え  
てくださる先輩方、又自治会役  
員男性陣の緻密な計画と動き、  
又女性陣の行動力のあるパワー

に感動し、自分自身も楽しませ  
ていただいた充実した一年でした。  
相棒の古川さんと共に、一つ  
一つ責任を果たしていく中で、  
会計部と云う自治会活動を通じ  
て得た貴重な体験を糧として、  
今後の私の日常生活に有意義に  
反映できるように、努めたいと  
思っています。ありがとうございます  
이었습니다。

### 文化部 山口利恵子

皆様の御協力のおかげで無事、  
一年が過ぎました。

部長にあたった時には、どう  
しようかと不安でいっぱいでした  
が、幸い役員の方にめぐまれ、  
たんぼぼの会の方々、その他大  
勢の方に助けられて、なんとか  
やってこられました。色々なこ  
とがありました。たぐさんの  
方とお知り合いになり、楽しく  
すごさせていただきました。あ  
りがとうございました。

### 福祉・共済部 高尾恵子

引き受けた時は憂鬱でしかな

かった役員も過ぎてみればあつ  
という間でした。福祉共済部の  
部長という大役も未熟ながら走  
り抜くことができ、力をくれた  
皆様に感謝の気持ちでいっぱい  
です。

役員を通して、地域でこんな  
にもたくさんの方々の行事や活動があ  
る事、それを動かすのにたくさ  
んの人が関わっている事を知り  
ました。いろんな出会いの中で  
いろんな事を学びました。こう  
した経験はなかなかできない事  
なので役員もやってみるもんだ  
なあと思いました。この貴重な  
経験をこれから生かせたらと  
思います。

支えて下さった皆様、本当に  
ありがとうございます。

### 防犯部 戸祭 淳

栗生第二住宅に住んで七年目、  
こちらに来る前は、三年半外国  
暮らしをしていました。

そう言った観点から自治会活  
動を考えると、日本固有の  
もので治安維持にも影響があり

機能していれば、安心して生活するために必要なものといつても良いでしょう。

諸外国では半強制的な価値観で生活が支配されていることが多々あります。その点では自由であつて少々の代償があるとしても、色々な活動を通じて社会に貢献出来ることがあるのではないかと考えていました。

平成十七年度自治会防犯部員としての活動を通して、自治会有志の方々に始め警察署、消防署、保健所、市役所、他地域自治会あるいは管理組合の方々などからご協力を頂きまして一年間とても有意義な時間を過ごす事ができました。また新たに色々な方と知り合うことが出来ました。何分にも感謝にやみません。ありがとうございました。

### 環境部 富田喜子

私が環境部の部長になり一年が経ちました。始めは他の役員の方も知らない人が多く、環境部の仕事、大きな行事のお手伝

いなど考えるととても気が重かったのですが、あつという間の一年でした。その時々々の準備など大変な事もありましたし、後からあの件はこうすれば良かったなどの反省もありますが、他の役員の方々、住民の皆様にご力を貸して頂きながら楽しくやって来れたと思います。ありがとうございました。

### 渉外部 木下知子

渉外部の仕事は、コミュニケーションセンターで働くことが大半で、その活動の中でも、秋の文化発表会は最も印象に残るものでした。ベテラン委員の方と共に、いろいろな芸術に触れ、アイデアやテクニクを教えてくださいながら芸術祭のお手伝いをして、大変楽しい思い出となりました。

自治会員、地域の方々から、ご指導頂き、支えていただきながら、この一年続けて参ることができました。情の深い方、寛大な方、本当に熱心に自治会活

動に取り組まれる方々と共に、自治会活動が出来ましたことを、とても感謝しております。一年間どうも有難うございました。

### 体育部 赤嶺真紀子

昨年、新役員顔合わせの時、体育部部长となつてしまい不安で一杯でした。しかし、前体育部部长さんが、細かな活動報告を書いてくれていたのでとても助かりました。ありがとうございました。

活動が始まると、皆さんに助けて頂き、大変よりも楽しいのが多かったです。ただ、体育部としてのメインイベント「地域運動会」が、雨天中止となつてしまった事が残念です。来年は晴れる様にと願っております。本当にこの一年、ありがとうございました。

### 広報部 八幡小緒里

広報部部长をお引き受けしてからやつと？もう？一年が経ってしまったんだというのが今の

正直な気持ちです。

自治会の活動を知らない方や、興味の無い方にも見て頂き、少しでも自治会の活動を理解して頂けるような「おお」を作らなければと、毎日悩み、焦り続けていました。

大丈夫かな…と心配や不安でいっぱいなのに他の役員の皆様に励まされパワーを貰い、支えて頂いた事、本当に感謝いたします。

大変な事も多く、家族に迷惑をかけてしまい悪かったなという気持ちも少なからずありますが、他の役員の方々や、地域の活動をされている方の姿を沢山見ていく中で、社会は一人では成り立たない事、人と人とのふれあいの大切さなどに気付かされました。この一年間の事は私の人生の糧になったと思っております。

「おお」を作るにあたって、協力して下さった方々、「おお」を見て下さった皆様、本当にありがとうございました。

# いかがでしたか？棟集会

自治会では毎年、各棟の自治会会員同士の親睦を深めて頂く為に「棟集会費」として、会員1名につき800円を棟単位で支出しています。各棟で「食事会」や「茶話会」など色々な趣向をこらして親睦を深めておられるようです。その様子をご紹介させて頂くと共にその時に頂戴しましたご意見の一部を掲載させて頂きます。

★集会所でお弁当をいただきながら…

★「サガミ」でお食事会…

※次年度の役員を選出する棟が多数でした。

★棟の前で話し合い（日用品をおみやげに）

## ご意見（抜粋）

- ・非自治会員の増加で役員選出がむずかしい
- ・自治会員を増やすための（勧誘）チラシなどを作ってほしい
- ・高齢者は役員を免除してほしい
- ・ペットの悪臭、鳴き声をなんとかしてほしい
- ・棟集会を周知してほしい
- ・役員が大変なので行事を減らしてほしい
- ・会員への還元が少ないので参加しやすい行事を増やしてほしい等など


貴重なご意見をありがとうございました。今後の自治会活動の参考にさせていただきます。尚、棟集会を行わない棟には棟集会費は支出しておりませんのでご了承ください。

## 新入会リスト

6棟	澤田	幸祐
8棟	山本	清美
9棟	八田	公江
12棟	出口	雅啓
18棟	小島	達也
29棟	久保	眞理
	岡	修平

## おねがい

前号に掲載させて頂きました、身近で小さなボランティアのベルマーク運動への協力を引き続きお願い致します。豊川北小学校の教頭先生をお願いをして、正門横の赤い建物「豊北ファミリーサロン」に回収箱を設置して頂きましたが、回収率が伸び悩んでいます。少しでも結構ですのお散歩のついでにお持ち頂けると嬉しいです。学校教材や備品を購入するために、ぜひとも御協力よろしくお願い致します。



自治会での役員の活動内容や、地域への貢献は、役員をした事が無い方には見えにくい部分があると思います、広報ではそれを皆様にお伝えしようと努力をしてみたいです。

しかし、住民参加型の行事は比較的分かりやすかったかも知れませんが、あまり知られていない活動に関しては、すべてをお伝えする事が出来なかつた事、力不足で申し訳なく深く反省いたしております。

住民の皆様には、自治会の活動に少しでも関心をもって頂けたらと願います。

これからも、ご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

### 歳末たすけあい募金

¥119,616円

ご協力ありがとうございました。

